

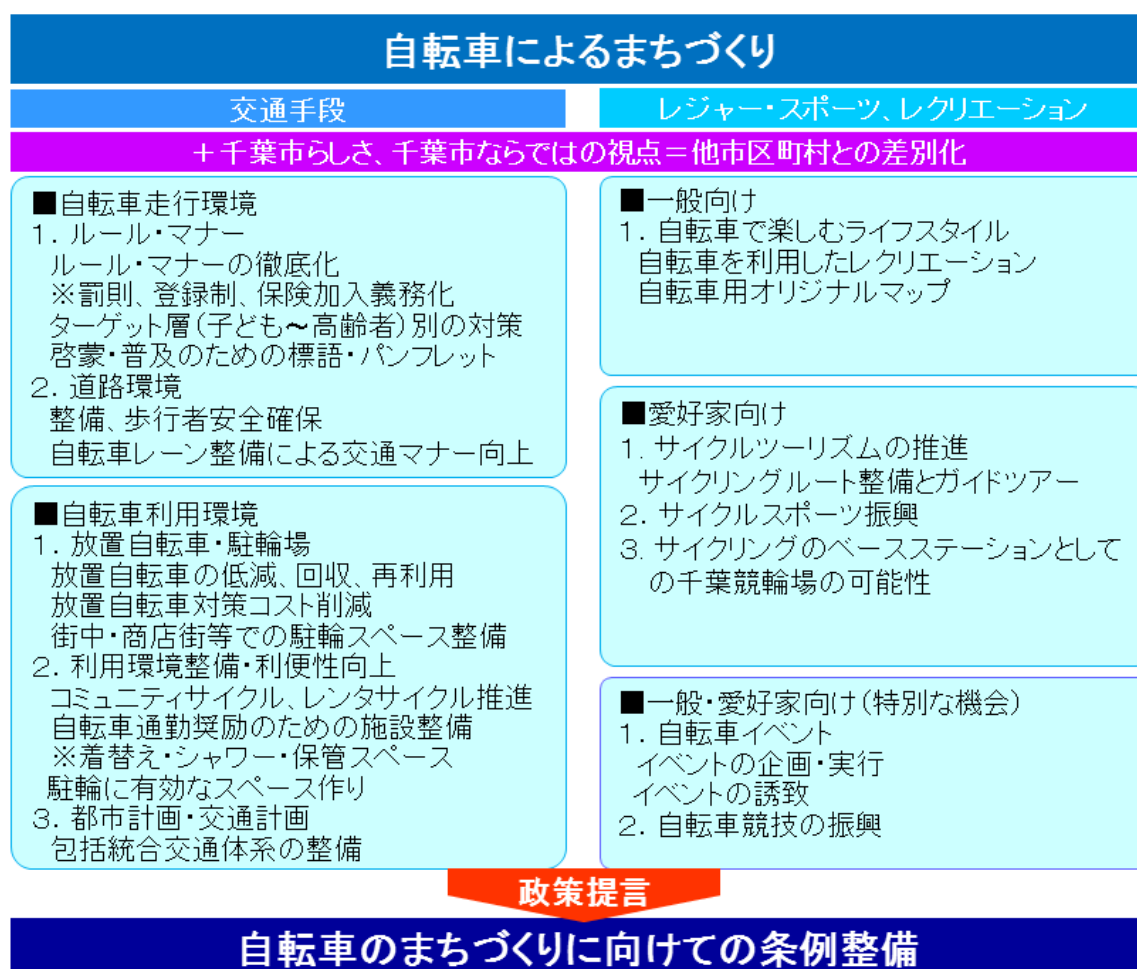
提言概要

千葉市まちづくり未来研究所では15名の研究員により、2014年10月から「自転車によるまちづくり」を実現するための政策について研究を進めてきた。約一年間に渡る研究の成果を最終報告書にまとめ、千葉市として取り組むべき政策について提言する。

具体的な政策提言を報告する前に、当研究所で取り組んできた研究テーマの概要や政策提言の特色、課題について触れておく。

■研究テーマの概要

下記の図が当研究所の全体像である。



【図】千葉市まちづくり未来研究所の全体像

研究テーマについては各研究員が興味のあるテーマをベースに、自転車のまちづくりとして必要なテーマを補足して決定した。研究テーマは大きく二つに分類される。一つ目が交通手段としての自転車を、より安全・安心に利用するための政策に係る研究、もう一つがレジャー・スポーツ、レクリエーションに自転車を活用するための政策に係る研究である。

交通手段の研究は、自転車の走行環境に関する政策と利用環境に関する政策に分類される。走行環境には、ルール・マナーと道路環境に関する研究が含まれており、利用環境には駐輪場に関する研究、

自転車利用環境や利便性を高めるための研究、さらに都市計画・交通計画といった自転車を含む包括的な統合交通体系に関する研究が含まれている。

一方、レジャー・スポーツ、レクリエーションの研究には、一般の自転車利用者が自転車を楽しむことを促進する政策の研究、既に自転車の楽しさを知っている愛好家向けの政策の研究、さらに、一般利用者や愛好家が参加する自転車のイベントや自転車競技に関する研究が含まれている。

これらのテーマをについて、図に記載した6グループが分担して研究を行った。

- ① ルール・マナーグループ
- ② 道路環境グループ
- ③ 利便性向上グループ
- ④ 都市計画グループ
- ⑤ 自転車で楽しむライフスタイルグループ
- ⑥ サイクルツーリズム&スポーツグループ

最終報告書ではこれらのグループごとに政策提言を行っている。ただし、すべての研究テーマが政策提言に反映されているわけではない。研究の結果、千葉市が取り組むべき政策としての提言に結びつかなかったものもある。また、図中のレジャー・スポーツ、レクリエーションの一般・愛好家向けの研究テーマには担当グループが記載されていないが、この部分の提言については各グループの提言の一部が含まれている。

■政策提言の特色

今回の政策提言の一つめの特色は、図中にも記載がある通り、「千葉市らしさ」や「千葉市ならではの視点」が反映されていることである。他の自治体の事例を参考にしつつ、千葉市の市民の意識・感覚や地理的特性を考慮した提言になっている。

二つめの特色は、すべての研究テーマには該当しないが一部のテーマについては研究員の独りよがりの判断ではなく、市民や他団体の参画を得て提言を考え出していることである。例えばルール・マナーグループではこども議員やガールスカウトのメンバーなどから意見を聴いている。また、レジャー、スポーツ、レクリエーションを担当したグループでは一般市民が参加するイベントを試行したり、自転車用マップの検討のため Code For CHIBA のメンバーの協力を仰いだりもしている。またあるイベントでは地元商店街の協賛を得て、賞品の提供を受けることができた。

■政策提言の課題

今回の政策提言の課題として、各グループの提言を研究所全体として評価し合意形成を行う過程を十分に踏まえることができなかった点が挙げられる。グループ活動を中心に研究を進めてきたが、各グループや研究員の思いが、粗削りなまま提言に結びついているものが含まれている点は否めない。また、各グループの提言の関連性を精査したうえで相乗効果を発揮するような提言にまで踏み込めていないのが実態である。

これらの課題については、研究員以外の様々な市民や市の所轄部署と意見交換を行うことによって解決を図っていく所存である。